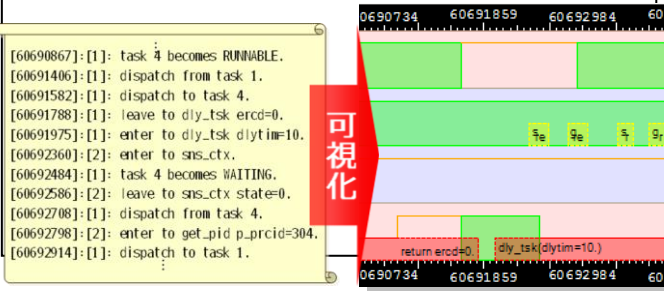


トレースログ可視化ツールにおける統計情報表示機能

山本研究室 IT スペシャリストコース 市原大輔

トレースログ可視化ツールとは

マルチプロセッサ環境でのデバッグとして行われるトレースログ解析を、トレースログを可視化することで支援するツールである。ここでは、[TraceLogVisualizer\(TLV\)](#)を対象とする。



ユーザからの要求

トレースログなどから
統計情報を取得・生成して
グラフ表示する機能の実装

現状の問題

- ・統計情報取得**コストが高い**
 - 手作業による作業コスト
 - 統計情報を取得するソフトウェアの開発コスト
- ・情報取得やグラフ作成で**複数のツールを要し**、作業が**非効率**

統計情報表示機能とは

統計情報表示機能は、統計情報のソースとなるファイルから、統計情報を取得し、それをグラフ表示する機能である。

統計情報ファイルには、統計情報とグラフ設定が含まれており、これを統計情報生成ルールに従って生成して、統計情報ビューアで表示することで実現する。

生成モードという、統計情報ファイル
を生成する手段を複数用意することで、
様々なユースケースに対応している。

各種生成モード紹介

データ読み取りモード

- ・ファイルに記録された統計情報を**正規表現**で取得
- ・トレースログや CSV 等，**様々な形式**に記録された統計情報を取得する場合に有効

基本解析モード

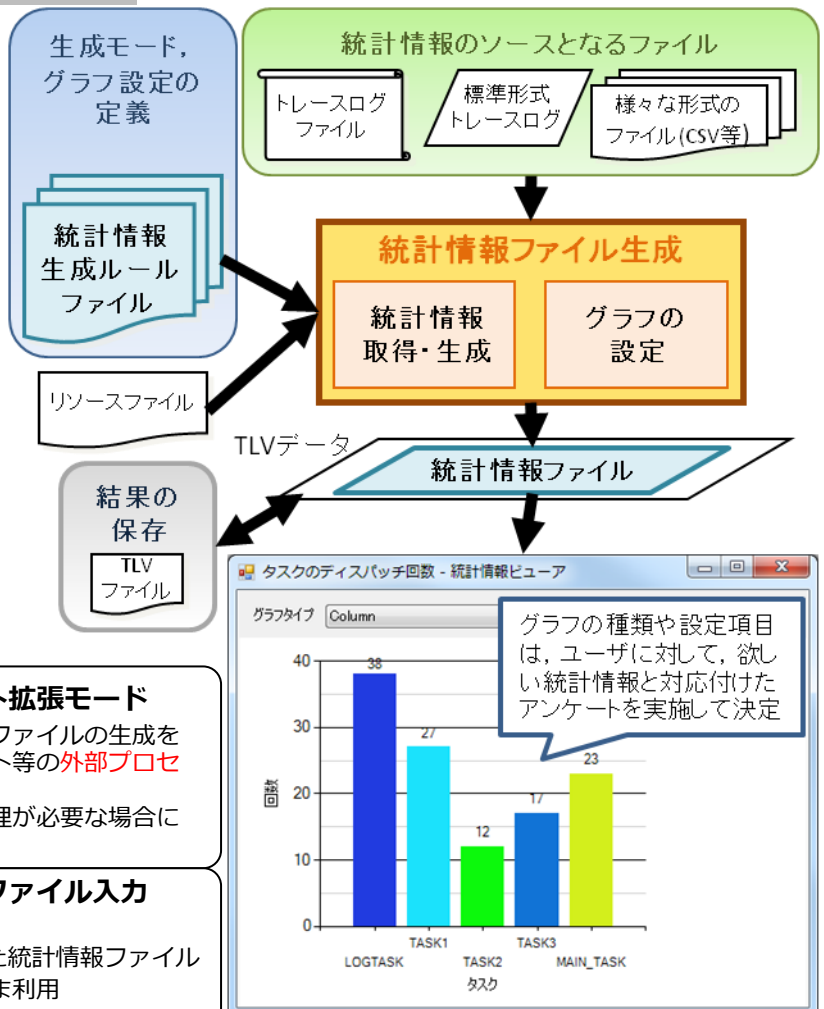
- ・ “イベント回数のカウント” 等の簡単な解析メソッドによる統計情報の生成
- ・ 単純な統計情報を低コストで生成したい場合に有効

スクリプト拡張モード

- 統計情報ファイルの生成をスクリプト等の外部プロセスに委託
- 複雑な処理が必要な場合に有効

統計情報ファイル入力 モード

- ・入力された統計情報ファイルをそのまま利用



スケジュール

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	
調査、要件定義	予											
	実											
設計	予											
	実											
実装	予											
	実											
マニュアル作成	予											
	実											

所感

チーム開発、ユーザの要求への対応、プロジェクト管理、企業目線の意見など、通常のコースでは味わえない経験ができてよかった。失敗は多かったが、就職前に失敗できたので、この失敗経験も含めて次のステップに活かしていきたい。